

令和3年度



# ふくおかしの 家計簿

## 目次

### 予算とは？何に使っているの？

- 予算って何？令和3年度の予算は？……………01
- 収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？……………01~02
- 市民一人あたりにすると？……………03
- 予算を「家計」に例えると？……………04
- どのような事業に使うの？……………05~10

### 福岡市の財政状況はどんなの？

- 借金はいくらあるの？他の政令指定都市と比べるとどうなの？…11
- なぜ借金が増えたの？借金は何に使っているの？……………12
- 収入や支出はどうなってるの？……………13~14
- 福岡市の財政状況のまとめ……………14

### 福岡市の財政をどうやりくりしていくの？

- 財政の現状と見通しは？……………15
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた取組みの方向性は？……………16
- 将来にわたり持続可能な財政運営に向けた令和3年度における取組みは？…17~18

**福岡市の**  
令和3年度予算  
財政状況  
将来にわたり持続可能な財政  
運営に向けた取組み  
を紹介します！

# 1 予算とは？ 何に使っているの？

## ●予算って何？

福岡市に1年間に入ってくる収入を見積もり、その使い道を決めるのが予算です。つまり、みなさんが収めた税金などが、どのような事業にどれくらい使われるのかを示したものです。福岡市の予算は、どの収入がどこに使われているか、収入と支出の関係をはっきりさせるため、3つの会計に分かれています。

## ●令和3年度の予算は？ ( )は前年度

**全会計 2兆1,564億円** (1兆9,428億円) 前年度比 **11.0%増**

一般会計の予算は、過去最大の規模となっており、政令指定都市(20都市中)では、横浜市、大阪市、名古屋市、札幌市について5番目の規模です。

**一般会計 1兆545億円** (8,875億円) 前年度比 **18.8%増**

福祉や教育、道路や公園の整備など行政の基本的な事業を行う会計(予算の中心)です。

**特別会計 7,712億円** (7,342億円) 前年度比 **5.0%増**

使用料など特定の収入で、特定の事業を行う場合に設ける会計です。福岡市には現在15会計(国民健康保険事業、介護保険事業など)があります。

**企業会計 3,307億円** (3,212億円) 前年度比 **3.0%増**

民間企業と同じように、事業収益で運営している会計です。福岡市には現在5会計(モーターボート、下水道、水道、工業用水、地下鉄)があります。

## ●収入(歳入)と支出(歳出)の内訳は？ ( )は前年度

### <一般会計の収入>

収入には、市税のほか国や県から交付されるお金や借入金などがあります。

#### 用語の解説

##### 一般財源

市税などのように用途が特定されず、どのような経費にも使用できる資金

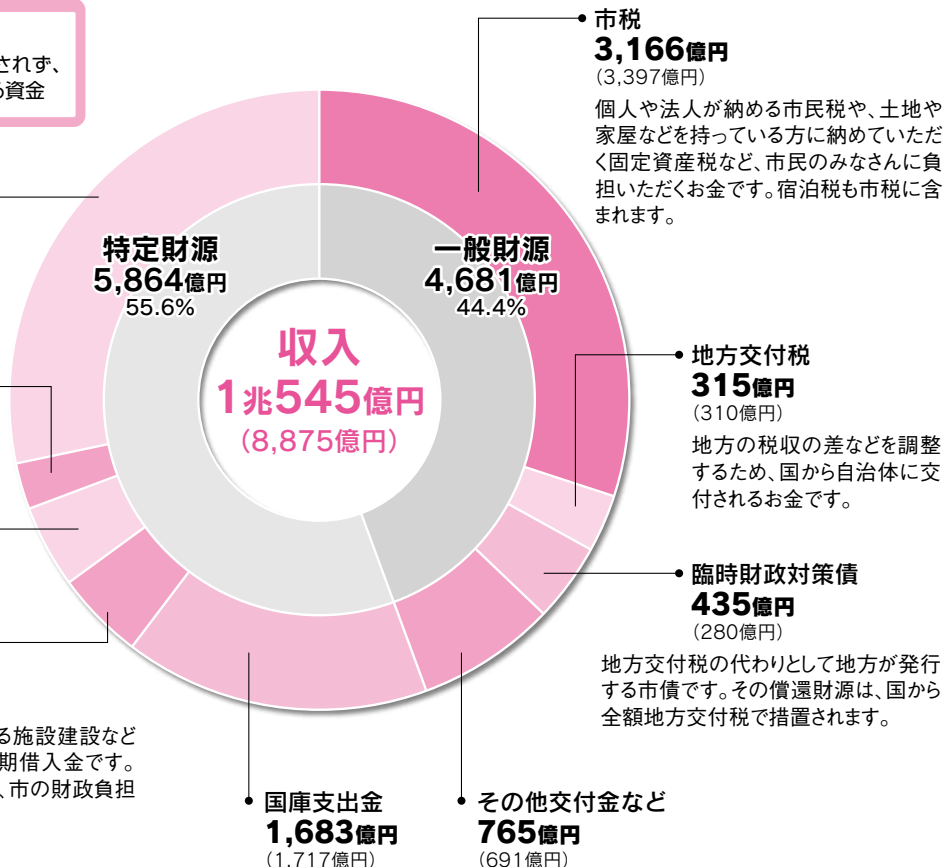
諸収入など  
**2,976億円**  
(1,308億円)

使用料及び手数料  
**262億円**  
(268億円)

県支出金  
**457億円**  
(409億円)

市債  
**486億円**  
(495億円)

道路や学校など長期間使用する施設建設などの財源として市が借り入れる長期借入金です。毎年度一定額を返済することで、市の財政負担を平準化しています。



市税  
**3,166億円**  
(3,397億円)

個人や法人が納める市民税や、土地や家屋などを持っている方に納めていただく固定資産税など、市民のみなさんに負担いただくお金です。宿泊税も市税に含まれます。

地方交付税  
**315億円**  
(310億円)

地方の税収の差などを調整するため、国から自治体に交付されるお金です。

臨時財政対策債  
**435億円**  
(280億円)

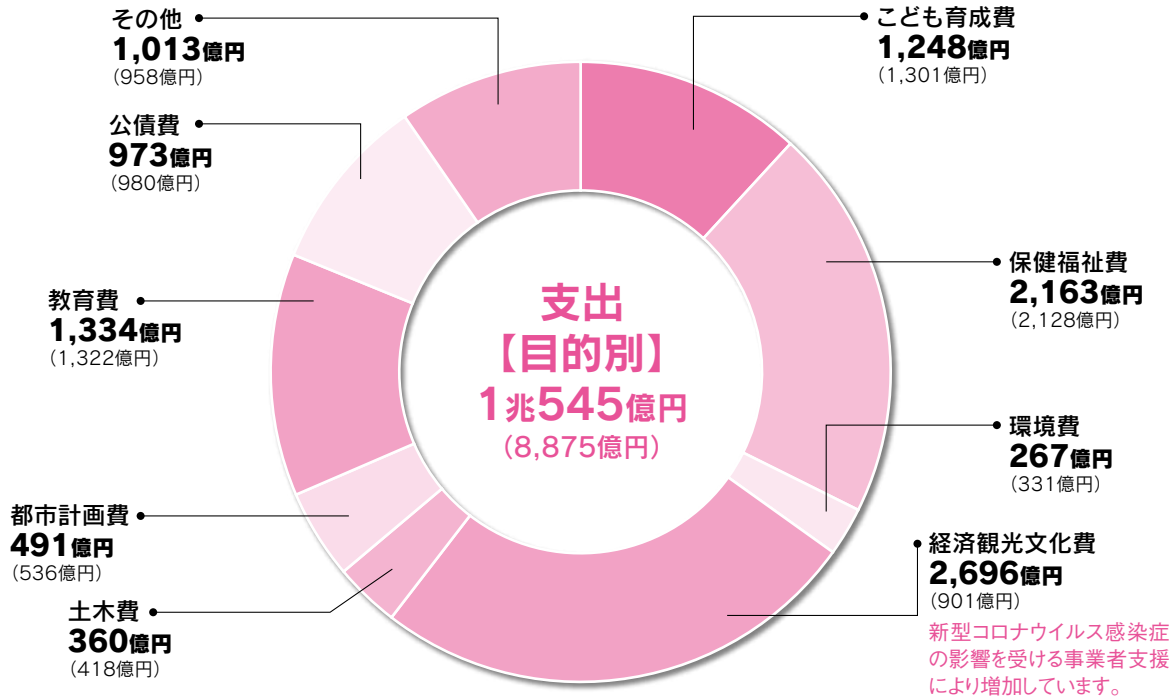
地方交付税の代わりとして地方が発行する市債です。その償還財源は、国から全額地方交付税で措置されます。

国庫支出金  
**1,683億円**  
(1,717億円)

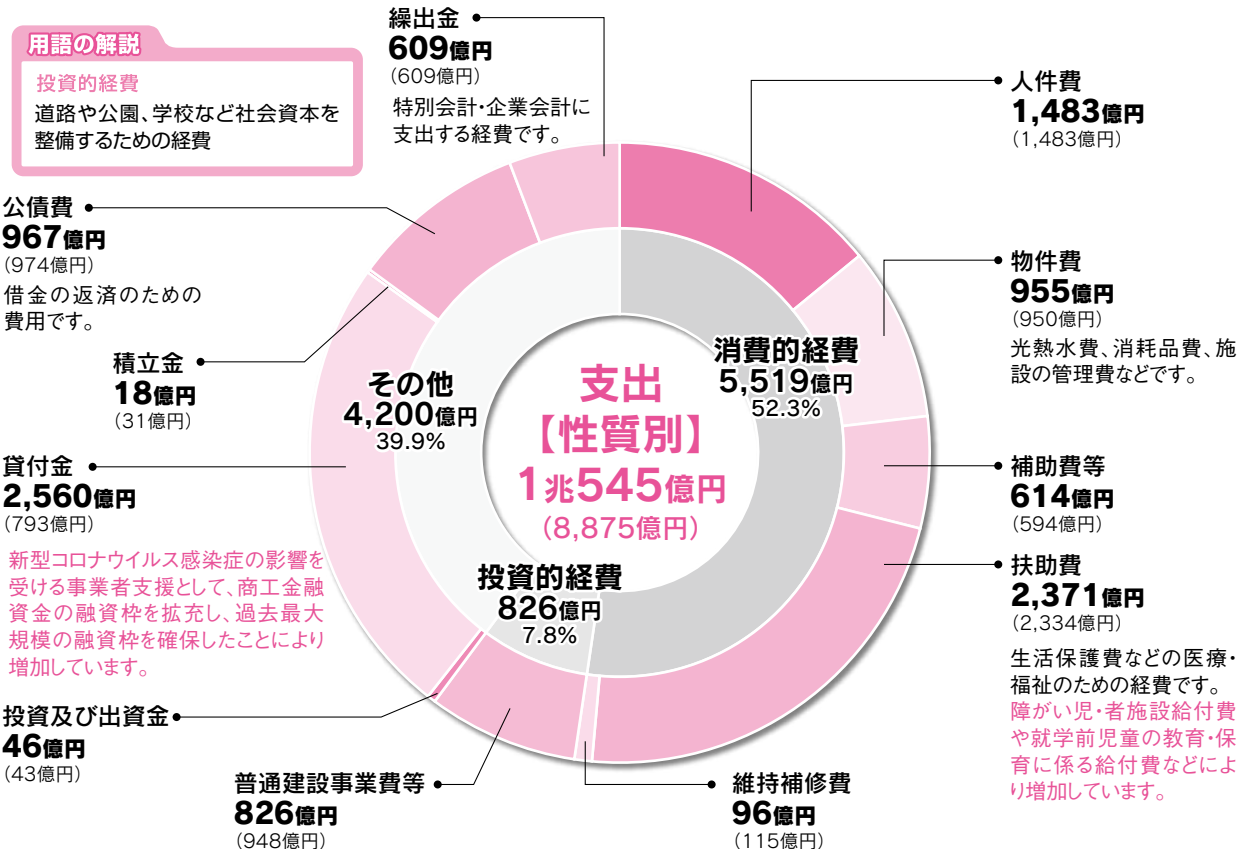
その他交付金など  
**765億円**  
(691億円)

## <一般会計の支出>

**【目的別】** 予算では、目的ごとにどれだけ使うのかを定めています。  
目的別の支出の内訳を見ると、子育てや教育、保健・福祉・医療などにかかる予算が全体の45%を占めています。















**【性質別】** 予算は目的別だけでなく、人件費や物件費など性質による分類からも、どれだけ使うか見ることができます。



## ●市民一人あたりにすると？

一般会計の予算を市民一人あたりに換算すると約67万円となり、市民生活の向上や地域経済の活性化などいろいろな施策に取り組んでいます。

	令和3年度予算		
	億円	市民一人あたりの予算 ※	
		円	
地域経済の発展に 	2,785	178,200	(26.4%)
保健・医療・福祉に 	2,183	139,700	(20.7%)
学校や教育に 	1,398	89,500	(13.3%)
こどもの育成に 	1,256	80,300	(11.9%)
道路・住宅・計画的なまちづくりに 	744	47,600	(7.1%)
行政の運営に 	681	43,600	(6.5%)
災害に強いまちに 	417	26,700	(3.9%)
地域活動・文化・スポーツに 	355	22,700	(3.4%)
清潔なまちに 	273	17,500	(2.6%)
地下鉄・水道事業の支援に 	203	13,000	(1.9%)
公園整備や緑の保全に 	160	10,200	(1.5%)
新鮮で安全な食料の提供に 	90	5,800	(0.9%)
<b>合計</b>	<b>10,545</b>	<b>674,800</b>	<b>(100.0%)</b>

※令和2年12月末現在の人口(156万2,772人)で算出しています。  
※( )内は、構成比を示しています。

市民一人当たりの予算約67万円は、  
20政令指定都市中3番目の多さです。

## ●予算を「家計」に例えると？

一般会計の予算(1兆545億円)を年間の収支が500万円(1ヶ月あたり41万6,000円)の家計に置き換えて説明します。

給与のうち、基本給の多くが市民の皆さんが納めた市税です。  
諸手当のうち、地方交付税は、どの市町村も標準的なサービスを受けられるよう地域間格差を解消するため、国から交付されるものです。  
また、国・県支出金は、生活保護や道路整備など市の事業の一部を国や県が一定割合を負担するものです。

### ふくおか家・1カ月の家計簿

#### 《収入》

給与	27万8,000円
（うち基本給 （市税などの自主財源） 諸手当）	15万8,000円 12万円
銀行からの借入 （市債）	3万6,000円
貸したお金の返済金 （貸付金元利収入）	10万2,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

#### 《支出》

医療費・保育料など （扶助費）	9万4,000円
ローンの返済 （公債費）	3万8,000円
食費 （人件費）	5万9,000円
光熱費や通信費など （物件費）	3万8,000円
家・車・電化製品の修理・買い換え （維持補修費、普通建設事業費等）	3万6,000円
家族への仕送り （繰出金、補助費）	4万8,000円
友人などへ貸すお金 （貸付金等）	10万3,000円
<b>計</b>	<b>41万6,000円</b>

義務的経費

ローンを3万8,000円返済する一方、新たな借入は3万6,000円に抑えました。借金残高を減らす努力をしています。

医療費・保育料など(扶助費)、ローンの返済(公債費)、食費(人件費)、の3つは、「義務的経費」と呼ばれています。

これが多いのは、一般家庭のエンゲル係数(家庭における食費の占める割合)が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。ちなみに、福岡市の歳出総額に占める義務的経費の割合は45.8%で、政令市平均は52.6%です。

## ●どのような事業に使うの？

令和3年度予算は、令和2年度2月補正予算と一体的に編成しています。その中から主な取組みを紹介します。

※令和2年度2月補正予算については、(補正)もしくは(うち補正)と記載

## 新型コロナウイルス感染症対策関連

### 検査・医療提供体制の充実

#### 新型コロナウイルスワクチン接種

95億273万円(補正)

新型コロナウイルスワクチンを円滑に接種することができるよう、医療機関等との調整や接種会場の整備、市民への接種勧奨などワクチン接種体制を確保します。



#### 医療機関等への支援

2億8,281万円(補正)

新型コロナウイルス感染症の最前線に対応している医療従事者や介護施設等の従事者に対して、支援金を交付します。

#### 検査体制の充実

15億6,877万円(補正)

医療・介護従事者や陽性者が多発している地域の関係者への無償の検査や、検査を希望する高齢者や分娩前の妊婦への検査費用助成を行います。



#### 健康観察等フォローアップ

6,855万円(補正)

新型コロナウイルスに感染し、やむを得ず自宅待機する方へ、パルスオキシメーターの貸与や食料品などの配付による生活支援や、スマートフォンのアプリなどを活用した健康観察等を実施します。



### 市民生活への支援

#### 感染症対策等代替保育サポート事業

505万円

感染症等により休園となった保育施設等を利用する方に、代替保育として訪問型保育サービスの利用費用の一部を助成します。

#### 市有施設の手洗い水栓の非接触化等

12億8,293万円(補正)

感染対策のため、おもに高齢者や障がい者、子どもが利用する市有施設の手洗い水栓について、自動式や自閉式の水栓に取り換えます。



手洗い

### 事業者への支援

#### 感染症対応シテイ促進事業

17億4,000万円(補正)

飲食店や理美容など市民が立ち寄る来店型の店舗等を対象に、換気設備やモバイルオーダーシステム導入などの感染症対策経費の2/3、最大60万円を補助します。



#### 商工金融資金の融資枠の拡大

2,481億5,900万円

市内中小企業・小規模事業者の資金需要に対応できるように、当初予算としては過去最大規模の融資枠を確保します。





# 「安全・安心」な環境づくりと「未来」を育むチャレンジ

## すべての子どもの未来を育む

### プレコンセプションケア推進事業 3,634万円

30歳を迎える女性を対象に、将来の妊娠を含め、自身の健康づくりやライフプランを考えるきっかけとなる医療機関での検査及び説明に係る費用を助成します。  
(自己負担500円)



### 不妊・不育で悩む方々への支援の充実 6億6,635万円(うち補正6億3,873万円)

特定不妊治療費助成について、所得制限の撤廃、助成額・助成回数が増、事実婚の夫婦を対象に追加します。また、一般不妊治療費助成と不育症検査費・治療費助成について、所得制限を撤廃し、事実婚の夫婦を対象に追加します。



### こども医療費通院助成の拡充 7億7,627万円

令和3年7月から通院助成対象を中学生まで拡大し、3歳から中学生の自己負担額を1医療機関1月あたり一律500円までに軽減します。



### ひとり親家庭自立支援給付金事業 1億4,435万円

就職に結びつく資格等の取得を支援するため、修学中に生活費(非課税世帯10万円/月、課税世帯7万500円/月)を支給する対象資格を10資格から21資格へ拡大します。



## 教育環境の充実

### GIGA スクールの推進 15億3,397万円(うち補正1億3,681万円)

児童生徒1人1台端末やアプリを活用した新しい学習スタイルを確立するとともに、インターネット環境がない家庭へモバイルルータの貸し出しを行います。



### スクールカウンセラー等の増員 7億3,742万円

児童生徒等への心のケアの充実を図るため、スクールカウンセラーを増員するほか、全中学校区・高校に配置しているスクールソーシャルワーカーを特別支援学校にも試行的に配置します。



## 誰もが安心して暮らしやすいまちに

### 重度障がい者等就労支援事業 1,275万円

重度障がい者等の雇用を促進するため、通勤や職場等におけるトイレや食事など、就業中に必要となる介助を福祉サービスの対象として実施します。



### ミドル世代就職支援事業 914万円

コロナの影響を受けた働き盛りのミドル世代を対象とした就職支援として、博多区の就労相談窓口でミドル世代専任の窓口相談員と求人開拓員を配置します。



# 「経済の元気」と「新しい時代」へのチャレンジ

## DX(デジタルトランスフォーメーション)へのチャレンジ

### 公民館 Wi-Fi 環境整備事業等 5,889万円(うち補正5,089万円)

地域のデジタル化促進拠点として活用するため、公民館にWi-Fi環境を整備します。また、公民館でオンライン申請相談会を実施するなど、市民や地域のデジタル化の促進に取り組みます。



### 中小企業等の DX 促進モデル事業等 9,063万円(うち補正8,282万円)

市内の中小企業等のDXを促進するため、モデルケースになりうる取組みを支援します。また、企業間取引のデジタル化をテーマとしたセミナーの開催やITコーディネーター等の専門家派遣など、中小企業の生産性向上を支援します。



## 新しい生活様式へのチャレンジ

### 全市版プレミアム付商品券事業 3億8,900万円(補正)

福岡商工会議所・志賀商工会・早良商工会が共同で実施する、市内全域の登録店舗で利用可能な電子版プレミアム付商品券事業を支援します。



### 宿泊施設の高付加価値化等支援事業 2億8,393万円(補正)

非対面化・非接触化など、宿泊施設が取り組むポストコロナを見据えた、施設・サービスの高付加価値化や事業者の生産性向上の取組みを支援します。



### 観光案内機能の強化事業 1,655万円

デジタルを活用した非対面・非接触によるリモート観光案内を実施します。



リモート観光案内イメージ

### 福岡型ワーケーション推進事業 1億1,410万円(補正)

ビジネス環境の良さと観光の魅力を活かしたワーケーション商品の造成・販売や、関連サービスの情報発信を行い、ビジネス旅行による消費の拡大を図ります。



※ワーケーション  
「ワーク」と「バケーション」を合わせた造語で、テレワーク等を活用し、余暇を楽しみつつ仕事を行うこと

## 国際金融機能誘致の推進

### 国際金融機能の誘致 4,584万円

国際金融に特化したワンストップサポート窓口の運営やフィンテック事業者への支援のほか、外資系金融機関を対象としたプロモーションや国際金融に関する地場企業向けフォーラムを開催します。

※フィンテック  
キャッシュレス決済等、ICT技術を活用した革新的な金融サービス



### 外国人支援ボランティアバンク 453万円

(公財)福岡よかトピア国際交流財団に「外国人支援ボランティアバンク」を創設し、日本語がわからない外国人の日常的な相談等に対して、ボランティアによるきめ細かな個別支援などを実施します。





# 「都市」と「自然」が調和したまちづくりにチャレンジ

## 未来に向けて生まれ変わるまち

九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり  
9億4,823万円

九州大学箱崎キャンパス跡地等において、先進的なまちづくりや都市基盤整備等の取り組みを進めます。



天神通線整備～天神地区の混雑緩和～  
30億4,800万円(うち補正13億)

天神地区における交通混雑の緩和やバスの定時性確保などを図るため、沿線のまちづくりと一体となって天神通線の整備に取り組みます。



## 市街化調整区域の活性化

Fukuoka East & West Coast プロジェクト  
2億2,415万円

海辺の観光周遊コースの形成や、豊かな自然環境と調和した道づくり、海づり公園施設の再配置に向けた基本設計など、志賀島・北崎エリアの魅力向上に取り組みます。



油山市民の森等リニューアル事業  
7,929万円

油山市民の森と油山牧場のリニューアルに向けて、事業者の公募やトイレの改修等を行います。



## 脱炭素社会へのチャレンジ

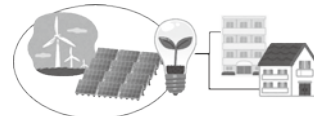
宅配ボックス購入補助  
1億3,973万円

通信販売の拡大により宅配数が伸びていることから、再配達を抑制し、CO2排出削減を図るため、宅配ボックスの購入費用を補助します。



再生可能エネルギー由来電力の利用促進  
366万円

再生可能エネルギーにかかる小売電気の情報や導入機会(共同購入手法の活用)を提供するなど利用しやすい環境づくりを進めます。



## 災害に強いまちづくり

災害対策本部機能の強化  
10億3,121万円

災害対策本部機能を、市役所15階に移転するとともに、迅速な情報伝達や災害対応に必要なICT機器の導入や活動スペースの整備等を行います。



※写真はイメージです

大容量送水管整備事業  
3億1,660万円

災害時応急給水用の水を確保するため、貯留機能を併せ持つ大容量送水管の新設に取り組みます。



# 各区のまちづくり

## 東 区

### 千早証明サービスコーナーのマイナンバーカード交付窓口の充実・強化 **202万円**

なみきクスエア内の千早証明サービスコーナーにおいて、専用窓口設置などにより、マイナンバーカードの交付件数を増やし、区役所への来庁者の分散化を促進し、混雑緩和を図ります。



### 東区認知症に優しいまちづくり事業 **73万円**

市民の認知症高齢者への理解を促進するため、地域、大学、医療・介護の専門職と連携して、ホームページ・SNSによる情報発信や認知症声かけ模擬訓練等を実施します。



## 博多区

### 地域防災・防犯対策の推進 **101万円**

近年増加している大規模な自然災害に対応できるよう、地域住民・施設管理者・市職員が連携し、感染症対策も講じた避難所運営を推進します。



### 地域と専門学校の共創 **61万円**

博多区内に多く立地する専門学校と地域を結び、学校の専門性と学生の活動力を地域活動に活かす取組みを行うなど、区の特性を活かした「共創のまちづくり」を推進します。



## 中央区

### 地球環境に優しい庁舎環境の整備 **1,045万円**

地域産木材を積極的に利用した区役所玄関前広場の改修を行うとともに、コロナ禍においても、来庁した市民が安心して快適に過ごすことのできる庁舎環境の整備を行います。



### コロナ禍でも実施可能な多職種連携体制の整備 **27万円**

医療職、介護職、行政職などの多職種連携を進めるにあたり、コロナ禍においても必要となる関係者との情報共有や研修の場を維持していくために、オンラインで情報交換ができる環境を整備します。



## 南 区

### 桜原桜を活かしたまちづくり事業 **357万円**

開花を目前に道路工事で伐採される予定だった桜が、延命を嘆願した住民の短歌をきっかけに伐採を免れたという、桜原桜のエピソードを広めるため、桜をテーマとした短歌募集と、SNSを活用したフォトコンテストを実施します。



### よかトレ実践ステーション **41万円**

区薬剤師会と連携して、身近な薬局などをよかトレ実践ステーション(介護予防に効果的な運動が実践できる場所)として位置づけ、地域住民の健康づくりをサポートします。



## 城南区

### ユニバーサル区役所推進事業

290万円

手洗い水栓の非接触化や窓口案内人の配置など、安全で快適に利用していただける区役所づくりに取り組めます。



### わかりやすく効果的な情報発信 (戦略的広報)

119万円

共創のまちづくりを進めるため、地域や大学等と連携して、オンライン講座や動画配信による情報発信に取り組むほか、区のシンボルキャラクター「ニッコりん」を活用して地域の魅力を発信する動画を作成するなど、わかりやすい広報に取り組めます。



## 早良区

### 「公民館を拠点とした地域包括 ケアシステム」の推進

191万円

人生100年時代に向けて、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、地域、大学、団体、行政の共創により地域包括ケア関連講座や認知症の映画上映、オーラルフレイル（口から始まる体の衰え）予防等の取り組みを推進します。



### 待合スペースの確保と 区役所1階フロア木質化

2,539万円

区役所1階フロアで、ゆとりある待合スペースを確保するとともに、地域産材を利用した木質化を行い、木と自然の温もりが感じられる、安心感のある区役所を目指します。



## 西区

### 地域自主防災力の充実・強化及び 外国人向け防災活動支援

186万円

校区の防災計画の見直しや防災訓練の支援、研修会による防災知識の普及を図るとともに、外国人向け防災マップを作成し、防災に必要な知識の啓発等を行うほか、西区内に毛布や食料などを備蓄する防災倉庫を確保します。



### ICTを活用した離島における 健康づくり事業

31万円

小呂島、玄界島において、健康づくり・介護予防のための運動実技や、認知症予防の講話等をオンラインで定期的実施します。

